

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	修正型電気痙攣療法の施行頻度と治療予後に関する後方視的調査研究
当院の研究責任者 (所属)	高江洲義和（大学院医学研究科精神病態医学講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	修正型電気痙攣療法(mECT)の施行頻度について最適なものは現在定められていない。一般的には週3回あるいは週2回のプロトコルが選択されており、うつ病に関する報告では、頻度を週3回とすることで週2回より早い治療反応が期待できる一方で、認知機能障害が増加する可能性が指摘されている。しかしその詳細や治療終了後の中長期的予後への影響については十分知られておらず、現状では各々の臨床医の判断や施設状況によって治療条件が設定されている。本研究では診療録の後方視的検討により、mECT 施行頻度について、週3回と週2回の違いが再燃率や術後のせん妄発症と関連する可能性を評価し、中長期的に治療予後に影響を与えるか検討する。それにより、臨床現場でmECT の治療計画を設定する際に参考となる知見を得て、今後mECT を行う症例の治療予後の向上に寄与することを目的とする
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2025 年 12 月 31 日
調査データ(該当期間)	2019 年 4 月から 2024 年 9 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2019 年 4 月から 2024 年 9 月の期間に琉球大学病院精神科神経科に入院し、うつ状態に対して修正型電気痙攣療法を行った方 ●利用する試料・情報 診療録より、下記項目を抽出する 主診断、入院時年齢、発症年齢、性別、婚姻状況、就労状況、同居家族、家族歴、既往歴、身体合併症、内服薬、mECT 施行条件（実施頻度、総回数、施行時の状況）、mECT 開始から退院までの日数、再入院の有無、再入院までの日数、せん妄の有無、行動制限の有無、入退院時 GAF (Global Assessment of Functioning)、CGI (Clinical Global Impression)

試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	なし
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化する。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。匿名化に使用する対応表は、精神科神経科医局内の電子カルテ用パソコンのアクセス権の限られたフォルダ内でパスワードをかけて管理する。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。 ・保管期間：本研究において採取したデータは、少なくとも本研究の終了報告から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間保管する。対応表を保管する場合も同期間、保管する。 ・保管方法：紙媒体は精神科神経科医局の施錠できる棚に保管し、データは精神科神経科医局のアクセス権が限られたパソコン内で適切に保管する。 ・廃棄方法：紙媒体はシュレッダー、データは復元できないような方法で完全に削除し、個人情報に十分注意して行う。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関するデータはすみやかに廃棄する(ただし、解析終了後はデータの削除は不可能とする)。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に係る研究経費はございません。 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	電話：098-895-1157 担当者：髙原駿平（大学院医学研究科精神病態医学講座）
備考	